

① おおいしくらのすけ
めいとうりよう

人間味があり、辛抱強く、ぼんやりなよつで腹の底は読めない、名リーダー。大石内蔵助。

② こずるいくろべえ
おれがきる

岡嶋八十右衛門(おかしまやそえもん)は大野九郎兵衛からヤユされたので一矢報いようとする。

③ え
えずめんとりの
おかのきんえもん

大工の娘と仲良くなって吉良邸の絵図面をゲット。

④ け
けんかく
おくだまごだゆう

興奮しやすい剣豪。歌川国芳の武者絵では入道に化けたムジナを退治している絵が描かれている。

⑤ う
うれしい
むすめむこ
かつたしんざえもん

ダイコンを売って身を潜めていた新左衛門をうとましく思っていた舅(しゅうじ)も討ち入りを喜んだ。

⑥ き
きゆうだゆうは
いわよりかたい

カタブツの間瀬久太夫(ませきゆうだゆう)はわいろで私腹を肥やしていた仲間たちから命を狙われる。

⑦ い
いそかい
じゅうろうざ
がつきのめいしゆ

碩員十郎左衛門(いそがいじゅうろうざえもん)はイケメンで舞(まい)、つづみ、太鼓がじょうずでした。

⑧ く
くうきをよまない
さぶろべえ

千葉三郎兵衛はズケズケ直言する癖があり内匠頭と仲が悪く松の廊下事件当時はリストラ寸前に

⑨ あ
あばれんぼうの
かずえもん

そこつモノの不破(ふわ)数右衛門は失敗が多くリストラされましたが、この様から好かれてました。

⑩ か
かんざきよごろう
わびじょうもん

たちの悪い馬子(まご)に言いがかりをつけられても作戦のためにグッとこらえて謝罪。大事の前の小事。

⑥ そ
そうえもんは
うるさがた

原惣右衛門は母親の遺書を懐中に入れて
いつでも内蔵助を助けて司令にあたりました。

⑦ と
とつくりのわかれ
あかがきげんぞう

討ち入りの日、別れを言いにお兄さんを訪ね
ますが不在だったので羽織(はおり)に挨拶をしました。

⑧ せ
せざえもんが
ぷちあだうち

大石瀬左衛門は内匠頭(たくみのかみ)を
はがいじめした梶川与惣兵衛を討ち取ります。

⑨ て
てきがふくすう
はんのじよう

菅谷(すがや)半之丞には、父親の仇も吉良家に
いたので仇討ち三昧(あだうちざんまい)でした。

⑩ す
すぎのとげんばの
ゆうじよう
ものがたり

杉野十平次と俵屋玄蕃(たわらぼしげんば)
の友情は、いまも歌い継がれています。

⑪ つ
つよいぞ！
うしおだ
またのじよう

強敵・清水一学(しみずいちがく)に致命的な
一槍(ひとやり)をのどに刺した人と伝えられます。

⑫ し
しゅじゅうのわかれ
げんごえもん

特別に面会を許された片岡源五右衛門だけが
家来で唯一(ゆいいつ)との様とお別れができました。

⑬ ち
ちかまつかんろく
みずのなか

山吉新八郎(やまよししんぱちろう)と闘って、
ケガをして泉水(せんすい)に落ちてしまいました。

⑭ さ
ささうりの
はいかいし
おおたかげんご

友人の俳人・宝井其角(たからいきかく)と討ち入りの
前日、両国橋で句のやりとりをするのが有名。

⑮ た
たよれるそうりよう
おおいしちから

享年16歳の最年少メンバーだが、裏門隊の
リーダーを立派に勤め上げた、大石内蔵助の長男。

① のんべえけんごう
ほりべ やすべえ

義士の花形。一番人気。高田馬場の決闘も有名。
あた名はのんべえやす。ケンカやすなど。

② ほんじよ
ごふくやにばける

茅野和助(かやのわすけ)は本所相生町(ほんじよ)
あいおいちよつ)で呉服屋のふりをして身を潜めました。

③ ねいねいねいと
きちえもん

侍ではない足軽(あしがる)という低い身分の
寺坂吉右衛門。ネイネイは歌舞伎での口癖です。

④ へんしんためす
やざえもん

貝賀弥左衛門(かいがやざえもん)は本心を試すため
計画中止のウンをついてメンバーに誓約書を返しました。

⑤ ぬけっ!
きむらおかえもん

木村はたちの悪い仲間から決闘を申し込まれるが
返り討ちに。その息子に自分の介錯を託しました。

⑥ ふうふなかよし
おのでらじゅうない

和歌が達者(たっしや)で愛妻家(あいさいか)
の十内は、死ぬまで妻・丹(たん)と文通をしました。

⑦ にんそくあいてに
ひともんちやく

吉田沢右衛門(よしださわえもん)は川人足(かわ
ケンカ)になりかけるが人足頭の娘(おいち)に救われる。

⑧ ひんこうほうせい
よこかわかんぺい

作戦のために親戚と縁を切ろうと(ふま)じめなフリで
さらわれようとしたが酒も飲めない(ので)苦労しました。

⑨ なんばーつーの
ちゅうざえもん

吉田忠左衛門は大石内蔵助の副頭領。
討ち入りのあと別行動をして自首に行っている。

⑩ はやみ
とうざえもんは
ゆみのつかいて

弓の名人・星野勘左衛門(ほしのかんざえもん)の
門弟(もんてい)で赤穂藩(あくそはん)ゆびおりの腕前(うでまへ)でした。

①も

もののふはしに
おくれざるのが
だいいち

奥田貞右衛門(おくださだえもん)はお七夜(しちや)の赤ちゃんに、そっ言い聞かせて討ち入りに出かけました。

②よ

ようきなりりーふ
たけばやしただしち

愉快なエピソードが多い義士で落語をアレンジした逸話まであります(「百登瓢箪」に収録の「尻ひねり」)。

③め

めにものみせてやる
まえはらいすけ

吉良家(きらけ)の用人(ようじん)に暴力を振るわれても抵抗せず「今に見てろ」と函を食いしばりました。

○

④む

むくちは
いっとうずいいち
はざまきへえ

むすこ十次郎の一番手柄をほめられて、喜兵衛は初めて笑いました。そのくらい寡黙(かもく)な人物。

⑤ゆ

ゆうひつがしら
なかむらかんすけ

勘助から発句(ほつく)した扇子をプレゼントされた吉良(きら)のガードマン忠吉(ちゅうきち)は出世(しゅせ)しました。

⑥み

みごと
いちばんやり
はざまじゅうじろう

十次郎は討ち入りのときに炭小屋(すみごや)に吉良(きら)を見つけた人です。

○

⑦ま

まごくろうは
ちみどろかんがい

討ち入りで活躍した間瀬孫九郎(まぜまごくろ)は体中が返り血で真っ赤でした。

⑧や

やかましおやじ
ほりべやへえ

メンバーの中で最高齢(さいこうれい)の弥兵衛(やへい)は優秀(ゆうしゅう)な外交官(がいこう)でした。

ろ

ろうわーぎし
みむら
じろうざえもん

仲間から身分の低いことをバカにされても
笑って受け流す好人物。

れ

れんぱんじょうに
なみだの
ようぜんいん

浅野内匠頭の正室(せいしつ)瑤泉院は内蔵助(くら)の
すけ)に愛想を尽かすか決起の連判状を見て反省する。

る

るつくすだんとつ
やこうべえもしち

「義士に女がいる」と言われるほどの美少年でした。

り

りへえは
おとこでうづる

支援者の天野屋利兵衛(あまのやりへえ)は拷問
(ごりもん)を受けても秘密を守りました。

ら

らんぼうあんまの
むらまつきへえ

あんまに化けてXデーを待っていたがへたくそで
患者に柔術をおみましていた。

じ

じゅしいの
しょうしょう
きらこうずけのすけ

従四位(じゅしい)は高い身分。ラスボス。
浅野内匠頭(たくみのかみ)の家来たちに討ち取られました。

ざ

ざいたくしらべた
おのでらこうえもん

お茶の心得のある幸右衛門は吉良邸に出入りして茶人
山田宗備(やまたそうへん)に近づき情報をゲットしました。

ご

ごろうえもんが
さるをきる

矢田五郎右衛門(やたごろうえもん)は居眠り中の
自分の顔をひっかいた猿回しの猿を斬り殺してしまいます。

が

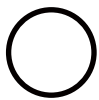
がんじがらめの
かやのさんぺい

お父さんからは再就職の話。いっばつで討ち入りの計画。
ごちんも裏切れず、切腹してしまいました。幽霊になって参加。

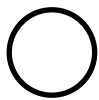
わ

わけありぎし
はざましんろくろう

他家に身を寄せていたメンバーなので、この人だけ
みんなと別にお墓がある。



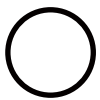
べろしゃらした
としまにすかれる



倉橋伝助(くらはしでんすけ)は吉良家出入りの金貸し
お蘭(らん)に惚れられるのでソレを利用する。



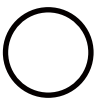
ぶじよくはゆるさん
あさのたくみのかみ



たえがたい侮辱(ぶじょく)を受けた内匠頭は
名誉を守るため相手を討つこととしますが失敗します。



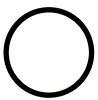
ばったりてきと
はちあわせ



吉良側の笠原長太郎が屋根伝いに降りてきたら
村松三太夫と鉢合わせ。斬られてしまう。



どごでもとうじょう
とみのもり
すけえもん



歌舞伎でも講談でも映画でも、なんなら中実でも
肝心なときに出てくる、名バイプレイヤー！